

「防災塾・だるま」3月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

- ◆日時 : 2019年3月22日 15:30~17:30 司会: 田中 晃
- ◆場所 : 横浜市青少年育成センター第1研修室(関内ホール地下2階)
- ◆出席者 : 池田、中島、山口(章)、白田、田中(喜)、山田(美)、片山、田中(晃)、玉井、佐々木、山田(富)、稲垣、早川、三浦、増田(佳)、田中(栄)、中村(誠)、鷺山 計18名(敬称略)

- 配布資料: 1. 「防災塾・だるま」3月定例会 議事次第
- 2. 第165回防災まちづくり談義の会「神奈川県における被災地支援」
- 3. 情報: 防災塾・だるま2019年3月
- 4. 神戸から学ぶ~2019: 「慰霊祭参加報告」(参加者7名分)
- 5. 4月定例会意見交換テーマ「『奇跡』を起こすために・何ができるか」

<チラシ関係>①第166回談義の会チラシ: 元船長が語る「訓練で学ぶ防災・減災」(4/26)
②神戸市西区老人クラブ連合会会長: 近藤豊宣氏「内閣府エイジレス章受章」
③防災・減災活動体験フェア「防災ギャザリング2019」(5/11)
④大井町防災まちづくりの会: 10周年記念式典までのスケジュール案内
⑤阪神・淡路大震災24年: 新聞記事(神戸/朝日/産経/毎日/読売)

*お願い=大学会議室使用時は静粛に!廊下での発声・携帯電話、机・椅子の移動時

【I 運営関係】

1. 運営: 定例会・談義の会

- ①「神戸から学ぶ1. 17慰霊祭」参加報告・・・田中(喜)、片山、早川、鷺山、池田
 - ・地学・地盤の話聞きながら、君が代の歌詞にある模様が綺麗な「さざれ石」が足元にあり、景色も素晴らしかった。参加した慰霊祭ではスタッフに若い人が多くなっていると感じた。
 - ・断層は堤防のように大きく感じた。地震体験館では3D映像と共に椅子が揺れる迫力を体験し、神奈川県防災センターの地震体験コーナーは、家具が飛んでくるような緊迫感のある映像にしてほしかったと感じた。市役所2階展示室を見学中、シェイクアウト訓練があったが、職員は何もしない(訓練に参加しない)のに苦言を呈した
 - ・1. 17は毎年参加している。慰霊祭に参加すると、防災について思いを留める、自分を見つめ直す機会、と思いを新たにする。JR三ノ宮駅前広場で犠牲者鎮魂の「希望の鼓」を聞き、新聞の第一面の写真が、以前の「中央区東遊園地」から「JR新長田駅前」での慰霊の写真へと変わり、24年という歳月を感じる
 - ・1. 17は地学・マンション防災に取り組み始めた原点。厳粛な気持ちで慰霊祭に参加。神戸に限らず関西では地震は無いと思っていた人が多かった。学校教育の場で、防災教育が行われていなかったことが残念。倒壊した家屋の下で救助されなかった多くの人がいたが、避難した人が救助していればもっと多くの方が助かったのではないかと、初期対応が必要だったと感じる。根尾谷断層は学術的にも重要で、国の特別天然記念物に指定されており、多くの人に見てほしい。「君が代」の歌詞の由来とされる「さざれ石」は、漢字では「細石」。もともとは小さな石を意味するが、岐阜県揖斐川町に、岐阜県の天然記念物にも指定されている石灰質角礫岩の大岩があり、周辺が「さざれ石公園」として整備されている。石灰質角礫岩は、石灰岩が雨などで溶け石の間に入って一体化し、長い年月を経て成長するため、神霊の宿る石と崇められてきた。公園周辺を含め伊吹山周辺はさざれ石の国内主産地。
 - ・神戸で1. 17の新聞を手に入れるよう依頼した。震災で亡くなった人や被害の記憶を後世に伝えるモニュメントが314か所地図上に掲載されている。新聞記事を活用して頂ければ

②4月~5月の予定・・・稲垣、田中(喜)、池田

- ・4月の意見交換テーマ「奇跡を起こすために何が・できるか?」について議論したいので、被災後1時間以内に何ができるか考えて、来月の議論に参加いただきたい

- ・第166回談義の会講師の赤嶺正治氏（横浜海洋福祉協会）は、鈴木さん(105)に誘われて談義の会に参加したことが発端。海洋地球観測船“みらい”の元船長であり、他で聞けない話題
 - ・5月例会担当：中島・田中(晃)氏、6月例会担当：鷲山・山田(美)氏と決定
 - ・6月28日談義の会講師は、荻原氏(元海上自衛隊)で決定。松山順三先生とは意見交換会を予定。川崎市の岡部衛生研究所長は、講演会と見学会として検討中
2. 2019年度総会・・・山田(美)、田中(晃)、中島
- ・総会準備に関しては分担制とかにしないと、作業が難しくなるのではないか
 - ・輪番制とかでやると責任が曖昧で、副塾長が全体を見るとかする必要があるのではないか
 - ・だるまの企画・運営に関する事なので役員会で検討します

【Ⅱ 主催・共催事業など】

1. 実践的防災まちづくりコーディネータ養成講座・・・中村、山田美
 - ・講座についての初回打合せ：3月27日4時、県サポートセンターで開催。可能な人は参加を
2. J-DAG・3BWGの活動・・・片山
 - ・J-DAG：相模原市「あじさい会館」(4/6)で実施予定、参加協力を。メールでも募集予定
 - ・3BWGについては、4月から新しいテーマを決めて、参加者を募集する
3. 「かながわ人と智ネットワーク」・・・山田(美)、鷲山
 - ・3月7日の打ち合わせで、「防災ミーティング(6/23)」の実施が決定された
 - ・「大学生を中心とした防災活動」など問題であり、鷲山氏が実行委員会に出席することを決定

【Ⅲ 協力・参加・情報・その他】・・・山田(美)、白田、山田(富)

- ・「ひらつな祭8(3/10)」開催：来場した佐谷説子氏(内閣府参事官)に「防災めぐり(こども編)」進呈
- ・3/3「日本建築士会青年委員会」でクロスロード体験ワークショップ(講師：白田・中村(俊))を開催。47都道府県63名の参加者が、“何に気づき”地元に戻って“何をやる気を持って行動するか”期待している。(体験ワークショップの報告は、だるまHP「Topics」に掲載)
- ・大井町まちづくりの会：発足10周年記念式典を開催(5/26)するので、だるま会員の協力・参加をお願いします

【Ⅴ 今後の予定】(だるまHPの「カレンダー」参照)

1. 平成31年4月例会 4月26日(金) 会場：24号館 310室 月担当：稲垣、田中(喜)
 - ・3BWGプロジェクト 13:30-14:00 担当：片山
 - ・定例会 テーマ：「奇跡を起こすために何が・できるか？」 14:15-15:45 担当：稲垣、田中(喜)
 - ・第166回談義の会 16:00-17:30 担当：稲垣、田中(喜)
 - 話題：元船長が語る「訓練で学ぶ防災・減災」
 - 講師：赤嶺正治氏（横浜海洋福祉協会）
 - ・役員会 4月9日(火) 10-12時30分 大学-851C
 - ・資料準備 (当日) 13-13時30分 大学-851C
2. 平成31年5月例会 5月24日(金) 会場：さくらリビング第1研修室(桜木町びおシティ6階) 月担当：中島、田中(晃)
 - ・第11回 だるま定期総会 13:00-14:00
 - ・定例会 話題：「テーマ未定」 14:15-15:45 担当：中島、田中(晃)
 - ・第167回談義の会 16:00-18:00 担当：中島、田中(晃)
 - 話題：「平成の地震災害を振り返って」
 - 講師：杉原英和氏（元神奈川県防災センター所長・消防学校長）
 - ・役員会 5月7日(火) 10-12時30分 大学-851C
 - ・資料準備 (当日) 13-13時30分 大学-851C

以上

(記録：中村 誠)